

平成 25 年度 横浜デジタルアーツ専門学校 自己評価表

評価については、適切...4 ほぼ適切...3 やや不適切...2 不適切...1 としている。

1. 教育理念・目標

	項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
	教育理念等を明文化しているか。	4	・ 高度な技術力の習得 ・ プレゼンテーション能力の育成 ・ 豊かな人間性の涵養
	教育理念等を教職員に対して周知徹底を図っているか。	4	職員室掲示。 非常勤講師には、教育課程編成委員会にて周知・配布（9/21・3/31）
	教育理念等を公表しているか。	4	Web サイトにて公表。入学者および保護者には入学ガイダンスにて周知している。
	教育目的・目標、教育計画が文書化され、提示されているか。	4	グランドシラバス、教育課程表、シラバスを作成し、よりわかりやすい形で学生に提示している。

2. 学校運営

	項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
	理事会、運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的開催されているか。	4	理事会、岩崎学園管理職の会議、本校教務課教員会議・教務課事業課教職員会議・就職会議・朝礼を開催。
	事業計画が定められているか。	4	年度初に立案し、理事長承認。学園管理職の会議にて進捗報告をしている。
	予算・収支計画は有効かつ妥当であるか。	4	年度初に立案。月次で支出状況を管理している。
	就業規則等はあるか。	4	学園総務部にて、就業規則等の整備を行っている。
	教職員一覧表（採用年、資格、年齢、学歴等記載）はあるか。	4	学園総務部にて、月次で更新。
	業務分掌は適切か。	3	学生支援業務（就職・学費対応、メンタルケア等）、学生募集業務（少子化・進路検討早期化対応等）が年々増加しているため、業務の効率化が必要となってきている。引き続き課題。
	人事考課は制度化されているか。	4	夏冬賞与時、年度末実施。
	出退勤が適切に管理されているか。	4	タイムカードまたは出勤簿、届出を月次管理。
	公印が管理されているか。	4	使用都度「公印簿」に記載。
	教職員の健康診断を実施しているか。	4	年 1 回実施（4/9）。
	情報システム化等により業務の効率化が図られているか。	3	学籍管理、成績管理、証明書発行、学生募集等システム化している。

3. 教育活動

	項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	4	教育課程および授業時限数、学則は所管の神奈川県に提出。年間授業時間 900 時間（規定 800 時間）
	カリキュラムは事前に学生に周知しているか。	4	入学年次毎の教育課程表・科目毎のシラバスを年度初めの導入期間に入学・進級生に説明。その後も学内ネ

			ネットワーク上のサーバから閲覧できる。
	カリキュラム作成に高校生の現状を反映させているか。	4	学生募集イベント「体験入学」にて入学前の高校生に模擬授業を展開し、学校を知ってもらうと同時に高校生の現状を見ている。 入学試験では受験生全員に面接を課しており、個々の高校生活を聞いている。 教職員が複数の県立高校にて学校評議委員を務め情報収集しているほか、高校の見学会、高校教員との意見交換会等に教職員が参加している。
	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4	文部科学省「職業実践専門課程」認可申請に伴い、従来から実施してきた「講師ミーティング」を発展させた「教育課程編成委員会」を組織し実施(4/1・9/21)。これによりデザイン系・ゲームCG系・音楽系の外部企業等との組織連携が担保された。 前期・後期発表会・学外展に企業から審査員を招聘し、意見をもらっている。 平成25年度より教員による企業ヒアリングを実施した。引き続き実施していく。
	社会ニーズ・学生ニーズに即応できるカリキュラムとなっているか。	4	週2回選択授業「短期講座」(3コマ×5週)を設定。必要に応じて年度途中でも設定している。 学科横断系講座(Office活用講座、基本情報技術者試験対策、就職準備講座、プレゼンテーション技法、スポーツ等) 専門系講座開講(デッサン、プロダクトデザイン、キャラクタービジネス、ドラム等)
	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4	「出席点20%+試験点30%+平常点50%」等をシラバスに記載し、学生へ周知している。
	教員の採用について、専門性確保の観点から基準が設けられているか。	4	学歴、業務経験等、担当科目により基準を設けている。
	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	4	前期・後期終了時に学生に対し授業アンケート実施。短期講座、特別講義等についても終了時に必ず学生から感想を提出させている。
	教員による自己評価が定期的に行われているか。	4	「自己申告票」をもとに管理職との面談を毎年12月実施。非常勤講師は、「授業運営チェックリスト」にて自己点検。
	評価結果による教員面接・指導が行われているか。	4	「学生アンケート」(授業評価)も自己評価に使用。
	先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成のための取組が行われているか。	4	「学校関係者評価委員会」からの指摘もあり、教員研修の充実を図った。技術研修、業界・企業動向研修、企業見学研修、指導研修、入学者動向研修、学生支援研修に区分することで目的を明確化し、また本校を実施会場とすることで、教職員が研修に参加しやすい設定とし実施した。
	非常勤講師との定期的な情報の共有を図っているか。	4	前期・後期の開始時に「教育課程編成委員会」(旧・講師ミーティング)を実施(4/1、9/21)。非常勤講師の出講場所を職員室にし、学科担当教員と必ず顔を合わせ、情報交換しやすい環境にしている。
	インターンシップを実施しているか。	4	各学科でインターンシップを推奨、かつ可能な限り実

			<p>施している。(授業内で行うもの、放課後夏休み等を利用して行うもの、企業に出向くものなど)</p> <p>その他に就職を前提とするインターンシップ実施。平成 26 年度は、ゲーム・CG 系企業でこのインターンシップが増える見込み。</p>
	コミュニケーション能力の向上に向けた取組を行っているか。	3	<p>取組強化のため、個人の課題制作の多い総合デザイン科、グラフィック科について、平成 25 年度入学生より科目「グループワーク演習」にて「グループで話し合い、役割分担を決め、コンセンサスを取り、情報共有することなどを学びます」に変更実施。</p>
	学習成果の発表を行っているか。	3	<p>前期発表会(9/20)・後期発表会(12/20・21・1/23・24)、学外展(3/9・10)を実施。制作した作品について展示だけでなく、学生が説明・発表をする。</p> <p>学習成果は卒業年次生全員が論文としてとりまとめ、刊行している。</p> <p>さらに様々な視点から評価をもらうため発表会への外部招待者を増やすことが課題。</p>
	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4	<p>ブログと印刷物にて公開・配布。</p>

4. 教育成果

	項目	評価	状況・課題等
	学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か。	3	<p>学科毎の就職率、専門就職率を設定している。年間スケジュールにより学生の就職先希望調査を複数回行い、目標に向かう指導をしている。平成 25 年度就職希望者の内定率 94.3%。</p>
	学生の就職に対する目標に対して教職員に共有されているか。	4	<p>就職指導部と教員による就職会議を週 1 回実施。年間スケジュールに基づき就職指導を実施。</p>
	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	4	<p>学生は「会社訪問メモ」(事前)・「就職活動報告書」(事後)提出。就職指導部でデータ化。特設 Web サイトにて過去データを就職活動資料として閲覧可能にしている。</p>
	過去の就職活動の記録を活かした指導を行っているか。	4	
	学生の就職結果に関して検証・報告を行ったか。	4	<p>就職会議(週 1 回)、年度末に総括。「保護者アンケート」実施。</p>
	就職実績を外部に公表しているか。	4	<p>「就職実績一覧」,「入学案内書」にて公開。</p>
	資格・検定試験等の取得目標を設定したか。	4	<p>学科により J 検、CG クリエイター検定、DTP 検定、Web クリエイター能力認定試験、ウェブデザイン技能検定、MIDI 検定受験。学生のモチベーションアップにつながることから取得を必須化。通常の授業、選択授業、補講で受験対策している。</p>
	退学率の目標を設定しているか。またその成果は十分か。	3	<p>年間目標 5%以下を設定。就職対策と同様、退学者防止対策は学校運営上の最重要事項。平成 25 年度 4.23%。</p> <p>退学注意者の早期発見、早期フォローアップを実施。平成 25 年度は、学習面でのドロップアウト防止強化として、計画的に補講期間を設置。</p>

退学率の低減策が教職員に共有されているか。	4	週次で担任からの欠席者・退学要注意者、および対応状況データを取りまとめ、教員で共有。
退学結果について検証・報告を行ったか。	4	検証をもとに対策・次年度目標を設定。
卒業生の社会的活躍や評価を把握しているか。	3	「入学案内書」にて卒業生のなかから、ゲームプログラマ、ゲームプランナー、CGクリエイター、グラフィックデザイナー、イラストレーター、Web デザイナー、開発エンジニア、シンガーソングライター、ベーシスト、サウンドクリエイター、音響効果を紹介している。 オープンキャンパス、学園祭等で卒業生を招き、トークセッションを実施。なお、すべての OBOG を把握は難しく、特定の OBOG にならざるを得ない。

5. 学生支援

項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
担任による面接・面談は定期的に行われているか。	4	状況により、面接・面談後 保護者面談・カウンセリングを実施し状況改善図っている。
メンタルヘルスについて相談できる専門家がいますか。	4	前年度よりカウンセラー 2 名に増員、週 2 日対応継続。
就職・進路について相談できる担当者がいますか。	4	担任、学科担当者、就職指導部職員。
就職活動について、いつでも対応できるシステムがあるか。	4	特設 Web サイトにて、求人票、先輩の活動データなどの照会可能。 「就職ハンドブック」を配布。履歴書の書き方、面接マナーなど気になることをいつでも再確認できる。
学生の面接・面談の記録があるか。	4	全員への面接・面談のほか、月次の「アクションシート」記入で個別に適宜対応。
健康診断を定期的に行っているか。	4	年 1 回実施 (4/9)。
犯罪・薬物・消費トラブル等の指導を行っているか。	4	神奈川県警の協力により啓発講座「薬物乱用防止講座」(4/16)、横浜中税務署「租税教室」(11/19)実施。
災害発生時の指導を行っているか。	4	避難訓練・防災ビデオ学習 (4/15・11/19) 実施、安全確認メール (4月入学時・10・3月) 実施。
万が一の事故に備えて、保険加入しているか。	4	加入済。
災害時の帰宅困難者への対応はしているか。	4	食料備蓄・防寒対策済。 新横浜駅周辺混乱防止対策連絡協議会参加 (2/12)・訓練参加 (2/26)。
奨学金等の経済的支援があるか。	4	日本学生支援機構奨学金に対応、岩崎学園奨学金を整備。安易に奨学金を借りる (借り続ける) ことのないようにも指導。
学費減免、学費分納制度があるか。	4	入学時および入学後に特待生試験を行い、学費等の減免を行っている。概ね 10 回の学費分割納入を制度として実施。
保護者への情報提供は行われているか。	3	保護者への便りにて成績、出欠状況等送付。
同窓会はあるか。	4	「校友会」(総会および懇親会 7/12) 実施。
卒業生へ学校情報を提供しているか。	3	Web サイトにて情報提供。コストの問題もあるが、郵送等直接配布も検討したい。

	クラブ活動を支援しているか。	3	バスケットボール部、ダンスサークル、その他サークル活動を顧問、補助金で支援。今後、学生の要望により部・サークル数を増やしたい。
--	----------------	---	---

6. 教育環境

	項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
	教室の数・広さ、実習室の数・広さは教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	平成 25 年度は、2 号館 3 フロアの空調設備更新、3 教室の床張替実施。
	最新機能を備えた機器、実習室は整備されているか。	3	DTP 教室、DTM 教室、レッススタジオ、工作室、体育館完備。学内常時インターネット接続可能。全学生にノート PC (ソフト) 貸与するため、導入時に最新の作品制作環境を提供している。インターネット環境が更新時期にあり、次年度、予算措置を行い、再整備する予定である。
	自宅学習を奨励するための設備を提供しているか。	4	全学生ノート PC (ソフト) 貸与。平成 25 年度生より総合デザイン・グラフィック・Web・ミュージック科は Mac マシン、ゲーム・CG 科は Windows マシンを貸与することとし、仕事の現場にあわせた作品制作環境を充実させている。
	教室以外に休憩スペースが適切に置かれているか。	4	2 号館 2 階に食堂 (学生ホール) 完備。3 号館は各フロアに休憩スペース完備。
	食堂や運動施設など教育環境を補完する施設が整備されているか。	4	体育館、屋上コート、食堂完備。箱根研修所、岩崎ミュージアム (コンサートホール) 所有。体育館は放課後・休日等、バスケットボールなどで学生にたいへんよく利用されている。
	学生寮を保有しているか。	4	東白楽寮 (女子) 業者提携学生会館完備。
	防災・防犯・非常時の対応策が文書化されているか。	4	学園総務部との連携により体制化。「安全管理マニュアル」にて安全点検も実施。

7. 学生募集

	項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
	学生募集計画が定められているか。	4	学生募集計画において、学科毎の募集人数、広報予算、利用広報媒体、参加進路説明会、オープンキャンパス等募集イベントを定め、実施している。進学資金や AO 入試の相談が増えていることを受け、それぞれの相談・説明会を追加実施。
	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	4	「入学案内書」記載。
	学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか。	4	「入学案内書」記載。
	学校案内等には学費・教材費が明示されているか。	4	「学生募集要項」記載。平成 25 年度より分割納入制度の支払例を追加記載。年度毎の教材費の変動を極力抑えるよう業者交渉を行っている。
	学校案内等には入学者選抜方法が明示されているか。	4	「学生募集要項」記載。指定校推薦、高校推薦、自己推薦、家族推薦、一般、

			特待生(A・B・C)、AO。
	入学に関する問い合わせに適切に対応できる体制ができているか。	4	教務部事業課(入学案内センター)が対応。 フリーダイヤル 0120-59-1317 問合せメール imail@iwasaki.ac.jp 印刷物には可能な限り QR コード掲載。
	学校説明会において入学情報を提供できているか。	4	年間スケジュールに基づき「作品見学&学校説明会」を開催。 各回約 120 分にて、学科・カリキュラム・学生作品・設備・学費・入学方法を説明。
	体験授業等で入学後の自分をイメージできるイベントを開催しているか。	4	年間スケジュールに基づき「体験入学」を開催。 デザイン・イラスト系、ゲーム系、ゲーム CG・3 DCG 系、Web 系、音楽系の系統別内容にて実施。
	入学辞退者の授業料返還が適切に処理されているか。	4	「学生募集要項」記載。平成 26 年度生は辞退者 0 名。
	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	4	入学後、1 週間程度の導入教育を実施していることや、就職試験において、一般常識が問われることが増えてきていることから、入学予定者には、高校の学習を第一に修了することを指導。希望者のみ体験入学への参加を促している。
	入学(予定)者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	4	入学ガイダンス(4/5)、導入教育実施。 平成 25 年度は、入学当初は、導入教育期間を設け、授業内容、学習方法、PC 操作など指導している。なお、学習・生活の不安解消のための新入生サポート日を設けた(4/19)。

8. 社会貢献

	項目	評価	状況・課題等
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会が主催している高校生向け講座:「仕事のまなび場」・「総専協夏季公開講座」、小中学生向け講座:「小中学生のためのチャレンジスクール」を実施。 その他、中学校・高校より依頼を受けて、職業講話などを行っている。
	学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか。	4	学外者と学生との事故も想定し、安全確保を図りながら、学校休業日に教室・体育館を貸し出している。
	ボランティア、募金などの社会活動に参加しているか。	4	毎年 12 月に岩崎学園バザーを開催し、売上金を神奈川新聞厚生文化事業団等に寄付している。
	デザインやイラスト、音楽などのコンテンツ産業発展のために寄与するイベント等を主催しているか。	4	中高生ソフトウェア・アイデア・コンテスト(9月)、(以下高校生向け)キャラクターイラストコンテスト(2月)、創作かみしばいコンテスト(2月)、オリジナルミュージックコンテスト(11月)をそれぞれ年 1 回主催。

9. 財務

	項目	評価	状況・課題等
	中長期的に学校の財務基盤は安定していると	4	入学者の確保に努め、入学者変動を抑えながら、収益

	いえるか。		事業を展開することで財務基盤の安定を図っている。
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	人件費、広報費等の学園ガイドラインに従い、予算・収支計画を立案し、理事長承認後、執行している。
	財務について会計監査が適正に行われているか。	4	内部監査、監事監査、監査人監査等の期中、期末の監査を実施していることで適正な監査体制が確立されている。
	財務情報公開されているか。	4	平成 25 年度より財務情報を公開している。

10. 法令等の遵守

	項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
	法令や専修学校設置基準を遵守しているか。	4	所管の神奈川県へ学則変更等届出実施、現況調査(学生数・教職員数・卒業状況等)実施。
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	個人情報保護規程を文書化。「学生募集要項」記載。
	自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善につとめているか。	4	文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に従い、本形式にて実施。学校関係者評価委員会にて報告、意見を求め、改善につとめている。
	自己評価結果を公開しているか。	4	平成 25 年度より自己評価および学校関係者評価委員会の指摘等を公開している。
	学校関係者による評価を実施し、問題点の改善につとめているか。	4	学校の専門分野における業界関係者、地元企業・団体、卒業生、高等学校関係者をメンバーとした学校関係者評価委員会を開催(5/10)。問題の把握と改善につとめている。
	学校関係者による評価結果は公開されているか。	4	平成 25 年度より公開している。

平成 26 年 5 月実施